



PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Group

Art Unit: 3761

Attorney

Docket No.: SHC0124

Applicant: Takaaki Shimada et al.

Invention: DISPOSABLE PULL-ON UNDERGARMENT

Serial No: 09/864,623

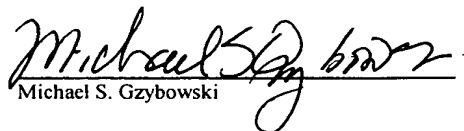
Filed: May 24, 2001

Examiner: Unknown

Certificate Under 37 CFR 1.8(a)

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service as first class mail in an envelope addressed to: Assistant Commissioner of Patents, Washington, D.C. 20231

on September 12, 2001


Michael S. Gzybowski

CLAIM FOR PRIORITY

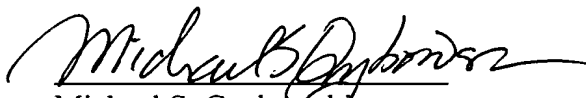
Assistant Commissioner for Patents
Washington, DC 20231

Sir:

Applicants hereby claim the priority of Japanese Patent Application No. 2000-157024
filed May 26, 2000, under the provisions of 35 U.S.C. 119.

A Certified copy of the priority document is enclosed herewith.

Respectfully submitted,


Michael S. Gzybowski
Registration No.: 32,816
Attorney for Applicant

MSG/mln/197507

BAKER & DANIELS
111 EAST WAYNE STREET, SUITE 800
FORT WAYNE, IN 46802
TELEPHONE: 219-424-8000
FACSIMILE: 219-460-1700

RECEIVED
SEP 21 2001
TECHNOLOGY CENTER R3700

GP3761
L. Parls
9-24-01
#2/Priority
Papers



日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 5月26日

出願番号
Application Number:

特願2000-157024

出願人
Applicant(s):

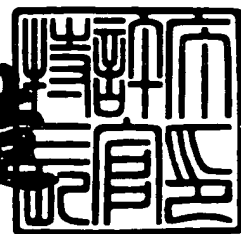
ユニ・チャーム株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3017516

【書類名】 特許願

【整理番号】 SL12P054

【提出日】 平成12年 5月26日

【あて先】 特許庁長官 近藤 隆彦 殿

【国際特許分類】 A41B 13/15
A61F 13/00

【発明の名称】 パンツ型の使い捨て着用物品

【請求項の数】 4

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 島田 孝明

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 鈴木 征爾

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 下江 成明

【特許出願人】

【識別番号】 000115108

【氏名又は名称】 ユニ・チャーム株式会社

【代表者】 高原 慶一郎

【代理人】

【識別番号】 100066267

【弁理士】

【氏名又は名称】 白浜 吉治

【電話番号】 03(3592)0171

【代理人】

【識別番号】 100108442

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 義孝

【電話番号】 03(3592)0171

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006264

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9904036

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 パンツ型の使い捨て着用物品

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 互いに対向する第 1 胴周り域および第 2 胴周り域と、それら胴周り域の間に位置する股下域とを備え、前記第 1 胴周り域と前記第 2 胴周り域とが、それら胴周り域の両側縁部に延びる接合領域で連結されて胴周り開口と一対の脚周り開口とが画成され、胴周り方向へ伸縮する第 1 弾性部材が、前記第 1 および第 2 胴周り域の少なくとも一方における前記胴周り開口の縁部に伸長状態で取り付けられ、脚周り方向へ伸縮する第 2 弾性部材が、前記脚周り開口各々の縁部に伸長状態で取り付けられたパンツ型の使い捨て着用物品において、

前記第 1 弾性部材が、第 1 両端部と、前記第 1 両端部の間に延びる第 1 中間部とを有し、前記第 1 両端部が、前記接合領域から胴周り方向内方へ偏倚した第 1 部位に固定されていることを特徴とする前記着用物品。

【請求項 2】 前記第 2 弾性部材が、第 2 両端部と、前記第 2 両端部の間に延びる第 2 中間部とを有し、前記第 2 両端部が、前記接合領域から脚周り方向内方へ偏倚した第 2 部位に固定されている請求項 1 記載の着用物品。

【請求項 3】 前記第 1 弾性部材の下方に位置して前記胴周り方向へ伸縮する第 3 弾性部材が、前記第 1 および第 2 胴周り域の少なくとも一方における前記胴周り開口の縁部と前記脚周り開口の縁部との間に伸長状態で取り付けられ、前記第 3 弾性部材が、第 3 両端部と、前記第 3 両端部の間に延びる第 3 中間部とを有し、前記第 3 両端部が、前記接合領域から胴周り方向内方へ偏倚した第 3 部位に固定されている請求項 1 または請求項 2 に記載の着用物品。

【請求項 4】 前記接合領域における前記第 1 胴周り域と前記第 2 胴周り域との剥離強度が、前記接合領域の縦方向の長さ 25 mm に対して 4 ～ 40 N の範囲にある請求項 1 ないし請求項 3 いずれかに記載の着用物品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、パンツ型の使い捨て着用物品に関し、より詳しくは、パンツ型の使

い捨ておむつやトレーニングパンツ、失禁者用パンツ等の着用物品に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

特開平 9 - 3 8 1 3 4 号公報は、透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、前後胴周り域とそれら胴周り域の間に位置する股下域とを備え、前後胴周り域が、それら胴周り域の両側縁部に延びる接合領域で連結され、胴周り開口と一对の脚周り開口とが画成されたパンツ型の使い捨て着用物品を開示している。接合領域では、多数の熱融着部が縦方向へ所要寸法離間して間欠的に並んでいる。

【 0 0 0 3 】

着用物品の脱衣時では、前後胴周り域をそれら胴周り域が互いに離間する方向へ引っ張り、着用物品を接合領域において、胴周り開口から脚周り開口へ向って引き裂く。

【 0 0 0 4 】

着用物品の胴周り開口の縁部と脚周り開口の縁部とには、胴周り方向へ伸縮する第 1 弾性部材と脚周り方向へ伸縮する第 2 弾性部材とが伸長状態で取り付けられている。着用物品の前後胴周り域における第 1 弾性部材の下方には、胴周り方向へ伸縮する第 3 弾性部材が伸長状態で取り付けられている。

【 0 0 0 5 】

それら弾性部材は、両端部と、両端部の間に延びる中間部とを有する。第 1 弾性部材と第 2 弾性部材とは、それらの両端部と中間部とが表面シートと裏面シートとの間に介在し、それらシートの少なくとも一方の内面に接着剤を介して間欠的に固定されている。第 3 弾性部材は、その両端部が表面シートと裏面シートとの間に介在し、それらシートの少なくとも一方の内面に接着剤を介して間欠的に固定され、その中間部が裏面シートの内面に接着剤を介して間欠的に固定されている。それら弾性部材の両端部は、その一部が接合領域に位置している。第 3 弾性部材の中間部は、コアを胴周り方向へ横切るように延びている。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

同号公報に開示の着用物品では、第1～3弾性部材の両端部の一部が接合領域に位置しているので、着用物品を接合領域において引き裂くときに、弾性部材各々の両端部が抵抗となって引き裂き操作が円滑に行えないことがある。

【0007】

本発明の課題は、接合領域において円滑に引き裂くことができるパンツ型の使い捨て着用物品を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】

前述した課題を解決するための本発明は、互いに対向する第1胴周り域および第2胴周り域と、それら胴周り域の間に位置する股下域とを備え、前記第1胴周り域と前記第2胴周り域とが、それら胴周り域の両側縁部に延びる接合領域で連結されて胴周り開口と一对の脚周り開口とが画成され、胴周り方向へ伸縮する第1弾性部材が、前記第1および第2胴周り域の少なくとも一方における前記胴周り開口の縁部に伸長状態に取り付けられ、脚周り方向へ伸縮する第2弾性部材が、前記脚周り開口各々の縁部に伸長状態に取り付けられたパンツ型の使い捨て着用物品を改良することにある。

【0009】

改良にかかる本発明の特徴は、前記第1弾性部材が、第1両端部と、前記第1両端部の間に延びる第1中間部とを有し、前記第1両端部が、前記接合領域から胴周り方向内方へ偏倚した第1部位に固定されていることにある。

【0010】

本発明の実施の態様の一例としては、前記第2弾性部材が、第2両端部と、前記第2両端部の間に延びる第2中間部とを有し、前記第2両端部が、前記接合領域から脚周り方向内方へ偏倚した第2部位に固定されている。

【0011】

本発明の実施の態様の他の一例としては、前記第1弾性部材の下方に位置して前記胴周り方向へ伸縮する第3弾性部材が、前記第1および第2胴周り域の少なくとも一方における前記胴周り開口の縁部と前記脚周り開口の縁部との間に伸長状態に取り付けられ、前記第3弾性部材が、第3両端部と、前記第3両端部の間

に延びる第 3 中間部とを有し、前記第 3 両端部が、前記接合領域から胴周り方向内方へ偏倚した第 3 部位に固定されている。

【 0 0 1 2 】

本発明の実施の態様の他の一例としては、前記接合領域における前記第 1 胴周り域と前記第 2 胴周り域との剥離強度が、前記接合領域の縦方向の長さ 2 5 m m に対して 4 ～ 4 0 N の範囲にある。

【 0 0 1 3 】

【発明の実施の形態】

添付の図面を参照し、本発明に係るパンツ型の使い捨て着用物品の詳細をパンツ型の使い捨ておむつを例として説明すると、以下のとおりである。

【 0 0 1 4 】

図 1， 2 は、前胴周り域 2 0 の側から示す使い捨ておむつ 1 の部分破断斜視図と、裏面シート 3 の側から示す図 1 のおむつ 1 の展開平面図とであり、図 3 は、図 2 の A - A 線端面図である。

【 0 0 1 5 】

おむつ 1 は、透液性表面シート 2 と、不透液性裏面シート 3 と、表面シート 2 と裏面シート 3 との間に介在し、表面全域が透水性のティッシュペーパー（図示せず）に被覆、接合された吸液性コア 4 とを主要な構成部材とする。コア 4 は、ティッシュペーパーを介して表面シート 2 と裏面シート 3 との少なくとも一方の内面に接合されている。

【 0 0 1 6 】

おむつ 1 は、図 2 に示すように、縦方向に前胴周り域 2 0（第 1 胴周り域）と、後胴周り域 2 2（第 2 胴周り域）と、前後胴周り域 2 0， 2 2 の間に位置する股下域 2 1 とを備え、互いに並行して縦方向へ延び、股下域 2 1 においておむつ 1 の横方向内方へ向かって弧を画く両側縁部 1 a と、互いに並行して横方向へ延びる両端縁部 1 b とを有する。表面シート 2 と裏面シート 3 とは、コア 4 の周縁から周り方向外方へ延びるそれらシート 2， 3 の互いに重なり合う部分が固着されている。前後胴周り域 2 0， 2 2 の両側縁部 1 a には、接合領域 B 1 が延びている。接合領域 B 1 では、多数の熱融着部 7 が縦方向へ所要寸法離間して間欠的

に並んでいる。おむつ 1 では、仮想線 Z と前後胴周り域 2 0, 2 2 の側縁 1 c との間の熱融着部 7 を取り囲む部位が接合領域 B 1 となる。

【 0 0 1 7 】

おむつ 1 では、合掌状に重なり合う前後胴周り域 2 0, 2 2 の両側縁部 1 a が接合領域 B 1 において接合され、図 1 の上方へ向って開口する胴周り開口 5 と、図 1 の左右へ向って開口する一対の脚周り開口 6 とが画成されている。

【 0 0 1 8 】

胴周り開口 5 の縁部には、胴周り方向 X へ延びる複数条の胴周り用弾性伸縮性部材 8 (第 1 弾性部材) が伸長状態で取り付けられている。脚周り開口 6 の縁部には、脚周り方向 Y へ延びる複数条の脚周り用弾性伸縮性部材 9 (第 2 弾性部材) が伸長状態で取り付けられている。

【 0 0 1 9 】

胴周り用弾性部材 8 は、前後胴周り域 2 0, 2 2 の両側縁部 1 a に位置する両端部 8 a (第 1 両端部) と、両端部 8 a の間に延びる中間部 8 b (第 1 中間部) とを有し、両端部 8 a が接合領域 B 1 から胴周り方向 X 内方へ偏倚した部位 B 2 (第 1 部位) に配置されている。胴周り用弾性部材 8 は、表面シート 2 と裏面シート 3 との間に介在し、その両端部 8 a が部位 B 2 におけるそれらシート 2, 3 の内面に接着剤 1 0 を介して部分的に固定され、その中間部 8 b がそれらシート 2, 3 の内面に接着剤 1 1 を介して間欠的に固定されている。

【 0 0 2 0 】

脚周り用弾性部材 9 は、前後胴周り域 2 0, 2 2 の両側縁部 1 a に位置する両端部 9 a (第 2 両端部) と、両端部 9 a の間に延びる中間部 9 b (第 2 中間部) とを有し、両端部 9 a が接合領域 B 1 から脚周り方向 Y 内方へ偏倚した部位 B 3 (第 2 部位) に配置されている。脚周り用弾性部材 9 は、表面シート 2 と裏面シート 3 との間に介在し、その両端部 9 a が部位 B 3 におけるそれらシート 2, 3 の内面に接着剤 1 2 を介して部分的に固定され、その中間部 9 b がそれらシート 2, 3 の内面に接着剤 1 3 を介して間欠的に固定されている。

【 0 0 2 1 】

おむつ 1 は、それら弾性部材 8, 9 の存在下に、胴周り開口 5 の縁部が胴周り

方向Xへ伸縮性を有し、脚周り開口6の縁部が脚周り方向Yへ伸縮性を有する。
図1では、弾性部材8, 9各々が収縮し、胴周り開口5と脚周り開口6との縁部に多数のギャザーが形成されている。

【0022】

弾性部材8, 9各々は、それらの両端部8a, 9aが表面シート2と裏面シート3とから剥離してしまうことを防ぐため、両端部8a, 9aが表裏面シート2, 3の内面に強固に固定されていることが好ましい。

【0023】

おむつ1の脱衣時では、おむつ1を接合領域B1において、胴周り開口5から脚周り開口6へ向って引き裂く。おむつ1では、接合領域B1に弾性部材8, 9各々の両端部8a, 9aが存在しないので、接合領域B1における熱融着部7の剥離強度のみが、おむつ1を接合領域B1において引き裂くときの抵抗となる。

【0024】

おむつ1では、接合領域B1における剥離強度が、接合領域B1の縦方向の長さ25mmに対して4~40Nの範囲にある。剥離強度が4N/25mm未満の場合では、おむつ1の着用中に胴周り開口5の縁部と脚周り開口6の縁部とを広げる方向へ張力が作用したときに、おむつ1が接合領域B1において不用意に剥離してしまうことがある。剥離強度が40N/25mmを超過する場合は、おむつ1を接合領域B1において引き裂くときに強い力を必要とする。

【0025】

図4, 5は、前胴周り域20の側から示す他の実施の形態のおむつ1の部分破断斜視図と、裏面シートの側から示す図4のおむつ1の展開平面図とであり、図6は、図5のB-B線端面図である。

【0026】

おむつ1は、透液性表面シート2と不透液性裏面シート3との間に、表面全域が透水性のティッシュペーパー（図示せず）に被覆、接合された吸液性コア4が介在し、前胴周り域20（第1胴周り域）と、後胴周り域22（第2胴周り域）と、前後胴周り域20, 22の間に位置する股下域21とを備え、互いに並行して縦方向へ延び、股下域21においておむつ1の横方向内方へ向かって弧を画く

両側縁部 1 a と、互いに並行して横方向へ延びる両端縁部 1 b とを有する。

【 0 0 2 7 】

おむつ 1 では、合掌状に重なり合う前後胴周り域 2 0, 2 2 の両側縁部 1 a が接合領域 B 1 において接合され、図 4 の上方へ向って開口する胴周り開口 5 と、図 4 の左右へ向って開口する一対の脚周り開口 6 とが画成されている。

【 0 0 2 8 】

図 4 のおむつ 1 が図 1 のそれと異なる点は、以下のとおりである。接合領域 B 1 には、図 5 に示すように、接着剤 1 7 がドット状に塗布されている。おむつ 1 では、仮想線 Z と前後胴周り域 2 0, 2 2 の側縁 1 c との間の接着剤 1 7 の塗布域が接合領域 B 1 となる。

【 0 0 2 9 】

おむつ 1 の前後胴周り域 2 0, 2 2 には、胴周り用弾性部材 8 (第 1 弾性部材) と脚周り用弾性部材 9 (第 2 弾性部材) との他に、胴周り用弾性部材 8 の下方に位置して胴周り方向 X へ延びる複数条の補助弾性伸縮性部材 1 4 (第 3 弾性部材) が伸長状態で取り付けられている。補助弾性部材 1 4 は、前後胴周り域 2 0, 2 2 に配置されてコア 4 を胴周り方向 X へ横切るように延びている。

【 0 0 3 0 】

補助弾性部材 1 4 は、前後胴周り域 2 0, 2 2 の両側縁部 1 a に位置する両端部 1 4 a (第 3 両端部) と、両端部 1 4 a の間に延びる中間部 1 4 b (第 3 中間部) とを有し、両端部 1 4 a が接合領域 B 1 から胴周り方向 X 内方へ偏倚した部位 B 4 (第 3 部位) に配置されている。補助弾性部材 1 4 は、その両端部 1 4 a が表面シート 2 と裏面シート 3 との間に介在し、部位 B 4 におけるそれらシート 2, 3 の内面に接着剤 1 5 を介して部分的に固定され、その中間部 1 4 b が裏面シート 3 とコア 4 との間に介在し、それら 3, 4 のうちの少なくとも裏面シート 3 の内面に接着剤 1 6 を介して間欠的に固定されている。

【 0 0 3 1 】

おむつ 1 は、それら弾性部材 8, 9, 1 4 の存在下に、胴周り開口 5 の縁部と前後胴周り域 2 0, 2 2 の略中央部とが胴周り方向 X へ伸縮性を有し、脚周り開口 6 の縁部が脚周り方向 Y へ伸縮性を有する。図 4 では、弾性部材 8, 9, 1 4

各々が収縮し、胴周り開口5の縁部と前後胴周り域20、22の略中央部と脚周り開口6の縁部とに多数のギャザーが形成されている。

【0032】

前胴周り域20に取り付けられた補助弾性部材14は、胴周り用弾性部材8と相俟って着用者の胴周りを締め付けるとともに、コア4を着用者の肌に当接させるように機能する。補助弾性部材14は、前後胴周り域20、22に取り付けられることの他に、前胴周り域20と後胴周り域22とのいずれか一方に取り付けられていてもよい。

【0033】

弾性部材8、9、14では、弾性部材8、9、14各々の両端部8a、9a、14aが表面シート2と裏面シート3とから剥離してしまうことを防ぐため、両端部8a、9a、14aが表裏面シート2、3の内面に強固に固定されていることが好ましい。

【0034】

おむつ1では、接合領域B1に弾性部材8、9、14各々の両端部8a、9a、14aが存在しないので、接合領域B1における接着剤の剥離強度のみが、おむつ1を接合領域B1において引き裂くときの抵抗となる。図4に示すおむつ1は、図1のそれと同様に、接合領域B1における剥離強度が、接合領域B1の縦方向の長さ25mmに対して4～40Nの範囲にある。

【0035】

表面シート2には、不織布や開孔プラスチックフィルム等の透液性のシート、好ましくは透液性であって親水性のシートを使用することができる。裏面シート3には、疎水性不織布、不透液性のプラスチックフィルムまたは疎水性不織布とプラスチックフィルムとのラミネートシート、好ましくは通気不透液性のシートを使用することができる。また、裏面シート3としては、高い耐水性を有するメルトブローン不織布の両シート面を、高い強度を有しかつ柔軟性に富んだスパンボンド不織布のシート面で挟んだ複合不織布（SMS不織布）を使用することもできる。

【0036】

不織布としては、スパンレース、ニードルパンチ、メルトブローン、サーマルボンド、スパンボンド、ケミカルボンド等により製造されたものを使用することができる。不織布の構成繊維としては、ポリオレフィン系、ポリエステル系、ポリアミド系、の各繊維、ポリエチレン／ポリプロピレンまたはポリエステルからなるシックアンドシン型またはサドバイサイド型等の複合繊維を使用することができる。

【 0 0 3 7 】

弾性部材 8, 9, 14 各々は、天然ゴムや合成ゴムからなるエラストマーであり、その形態として糸状やフィラメント状、フィルム状、帯状のもののいずれかを使用することができる。図 1 と図 4 とに示すおむつ 1 の胴周り用弾性部材 8 と脚周り用弾性部材 9 とは、それら弾性部材 8, 9 の両端部 8 a, 9 a が部位 B 2, B 3 における表面シート 2 と裏面シート 3 との内面に接着剤 10, 12 を介して連続的に固定され、それら弾性部材 8, 9 の中間部 8 b, 9 b が表面シート 2 と裏面シート 3 との内面に接着剤 11, 13 を介して連続的に固定されていてもよい。さらに、図 4 に示すおむつ 1 の補助弾性部材 14 は、その両端部 14 a が部位 B 4 における表面シート 2 と裏面シート 3 との内面に接着剤 15 を介して連続的に固定され、その中間部 14 b が裏面シート 3 とコア 4 との少なくとも裏面シート 3 の内面に接着剤 16 を介して連続的に固定されていてもよい。

【 0 0 3 8 】

コア 4 は、木材パルプを粉碎して得られるフラッフパルプと高吸収性ポリマー粒子との混合物であり、所要の厚みに圧縮されている。高吸収性ポリマーとしては、澱粉のグラフト重合体、セルロース変性体、水溶性高分子の架橋物、自己架橋型アクリル酸アルカリ金属塩等を使用することができる。

【 0 0 3 9 】

シート 2, 3 どうしの固着やコア 4 の接合には、ホットメルト接着剤等の接着剤や粘着剤、または、ヒートシールやソニックシール等の熱溶着の手段を利用することができる。接着剤 10, 11, 12, 13, 15, 16, 17 としては、ホットメルト接着剤を使用することが好ましい。弾性部材 8, 9, 14 の固定には、接着剤 10, 11, 12, 13, 15, 16 の他に、熱融着の技術を利用す

ることもできる。

【 0 0 4 0 】

この発明は、使い捨ておむつの他に、トレーニングパンツ、失禁用パンツ等でも実施することができる。

【 0 0 4 1 】

【発明の効果】

本発明に係るパンツ型の使い捨て着用物品によれば、弾性部材各々の両端部が接合領域から胴周り方向内方と脚周り方向内方とへ偏倚した部位各々に配置、固定されているので、弾性部材各々の両端部が抵抗となることはなく、着用物品を接合領域において円滑に引き裂くことができる。

【 0 0 4 2 】

また、着用物品では、接合領域における剥離強度が、接合領域の縦方向の長さ 2 5 m m に対して 4 ～ 4 0 N の範囲にあるので、着用物品が接合領域において不用意に剥離してしまうことはなく、着用物品を接合領域において引き裂くときに強い力を必要とすることもない。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

前胴周り域の側から示す使い捨ておむつの部分破断斜視図。

【図 2】

裏面シートの側から示す図 1 のおむつの展開平面図。

【図 3】

図 2 の A - A 線端面図。

【図 4】

前胴周り域の側から示す他の実施の形態のおむつの部分破断斜視図。

【図 5】

裏面シートの側から示す図 4 のおむつの展開平面図。

【図 6】

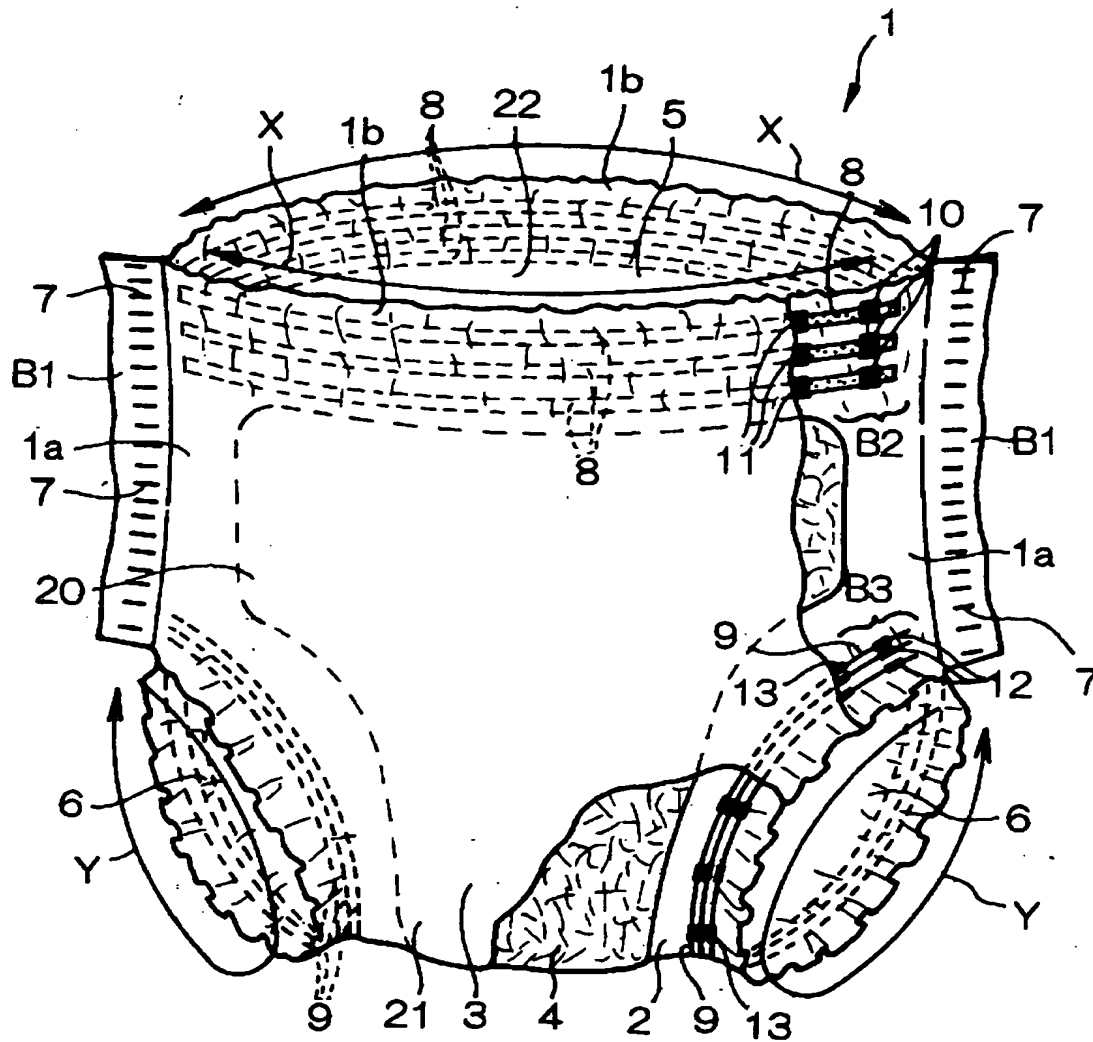
図 5 の B - B 線端面図。

【符号の説明】

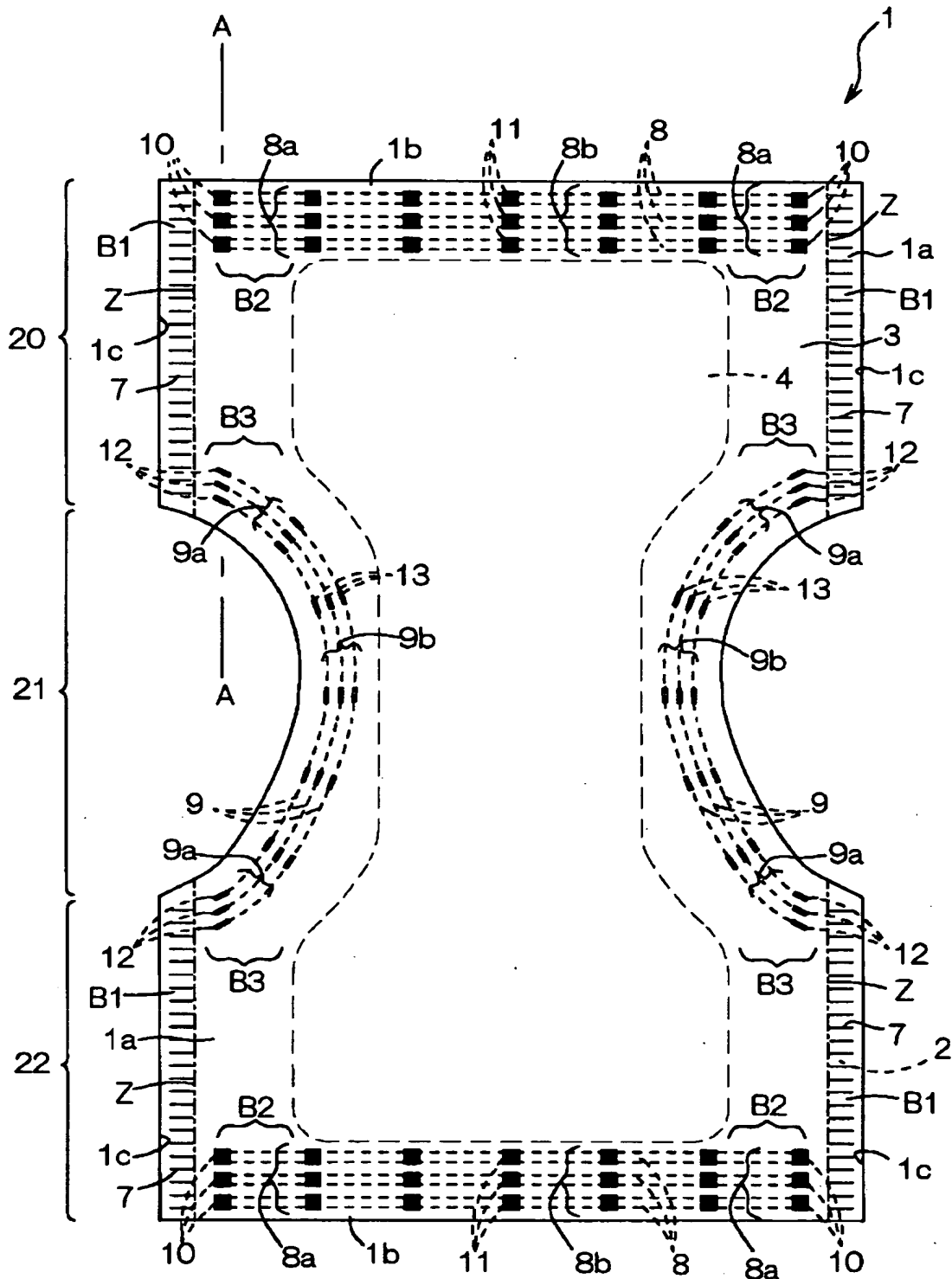
1	パンツ型の使い捨ておむつ（パンツ型の使い捨て着用物品）
1 a	両側縁部
2	透液性表面シート
3	不透液性裏面シート
4	吸液性コア
5	胴周り開口
6	脚周り開口
8	胴周り用弾性伸縮性部材（第 1 弾性部材）
8 a	両端部（第 1 両端部）
8 b	中間部（第 1 中間部）
9	脚周り用弾性伸縮性部材（第 2 弾性部材）
9 a	両端部（第 2 両端部）
9 b	中間部（第 2 中間部）
1 4	補助弾性伸縮性部材（第 3 弾性部材）
1 4 a	両端部（第 3 両端部）
1 4 b	中間部（第 3 中間部）
2 0	前胴周り域（第 1 胴周り域）
2 1	股下域
2 2	後胴周り域（第 2 胴周り域）
B 1	接合領域
B 2	部位（第 1 部位）
B 3	部位（第 2 部位）
B 4	部位（第 3 部位）
X	胴周り方向
Y	脚周り方向

【書類名】 図面

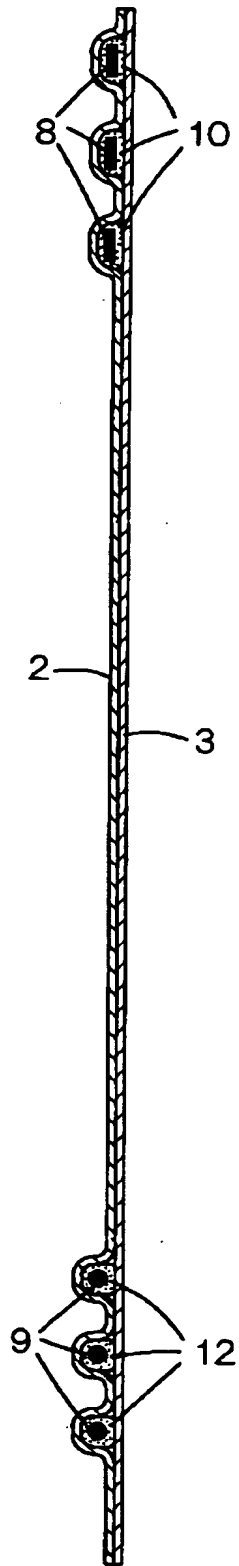
【図 1】



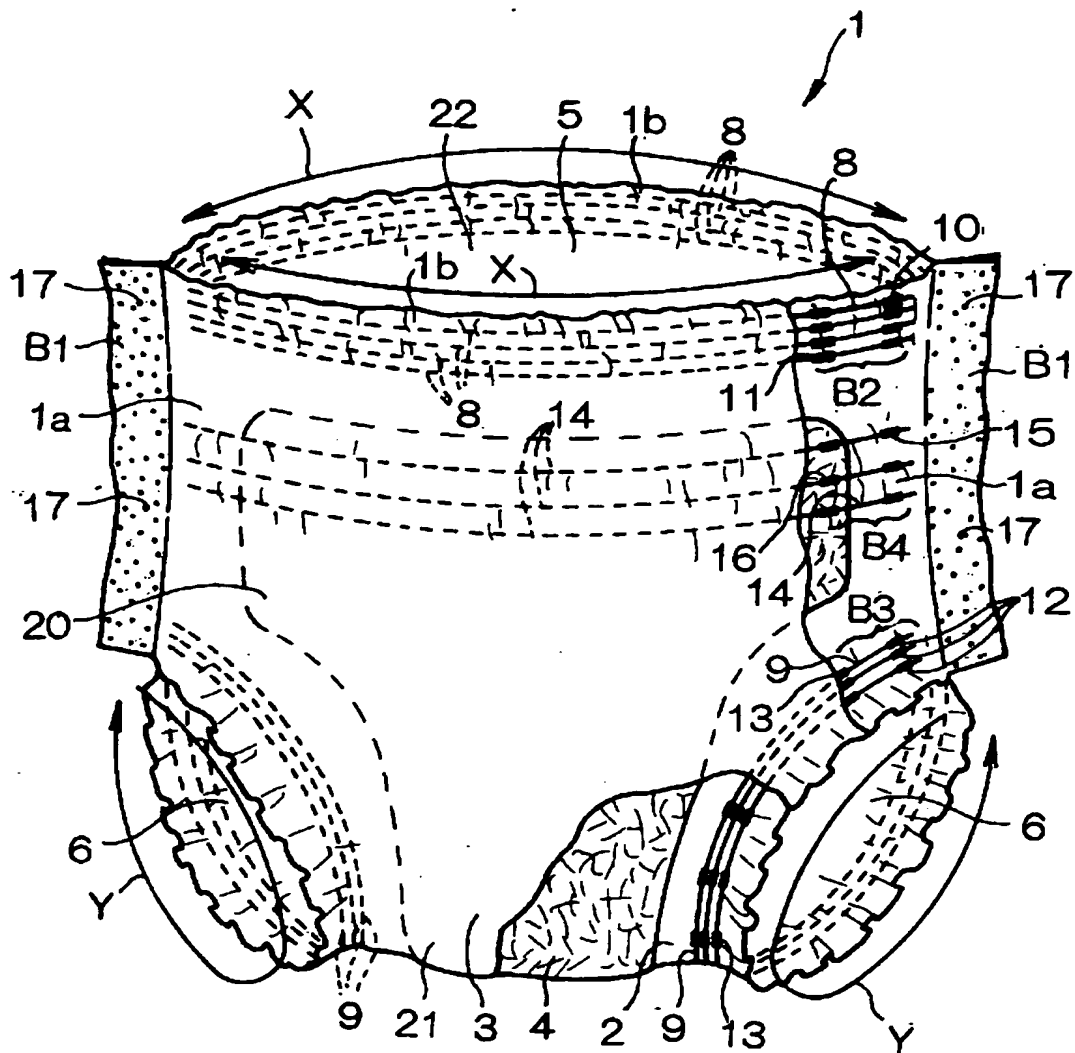
【図 2】



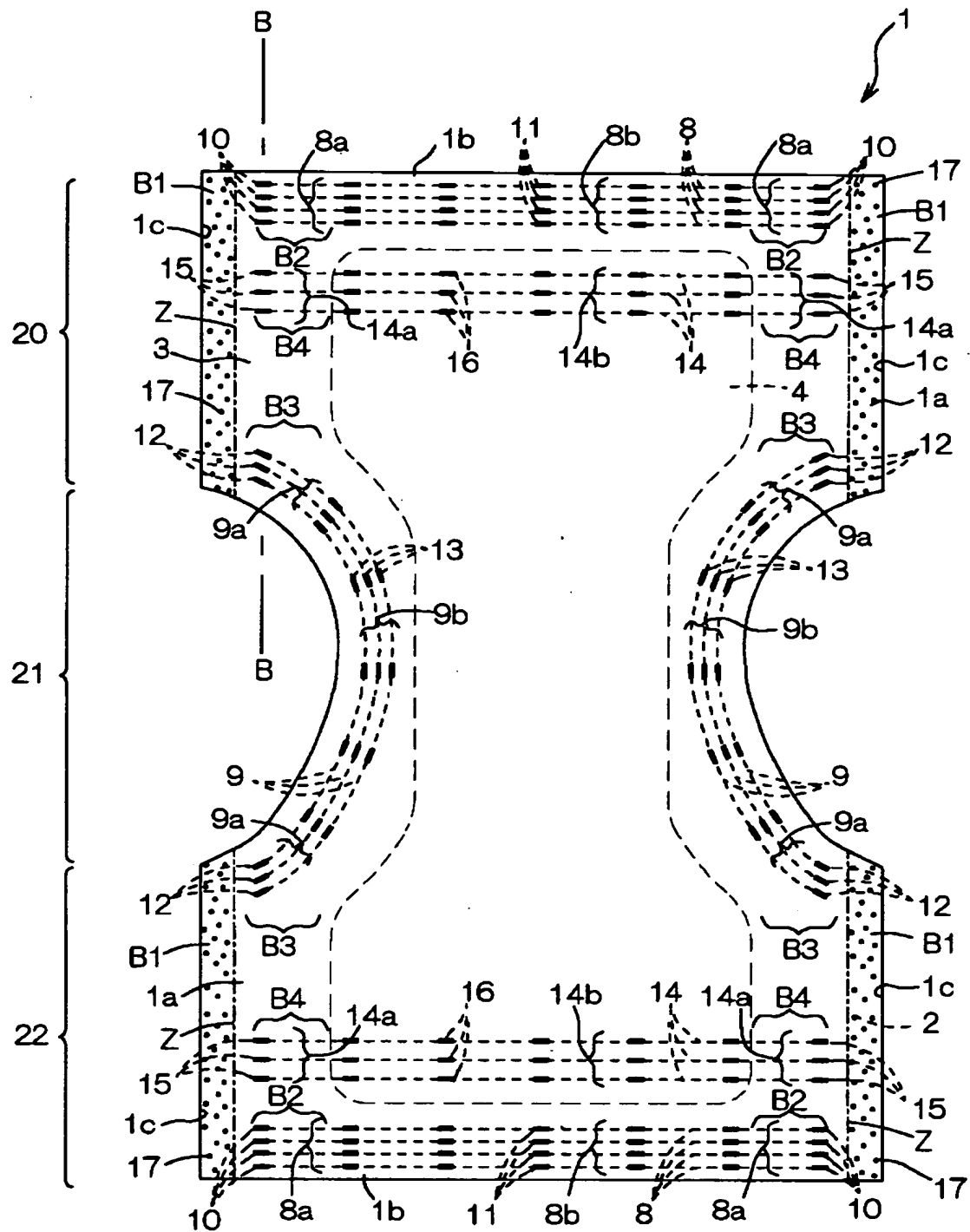
【図 3】



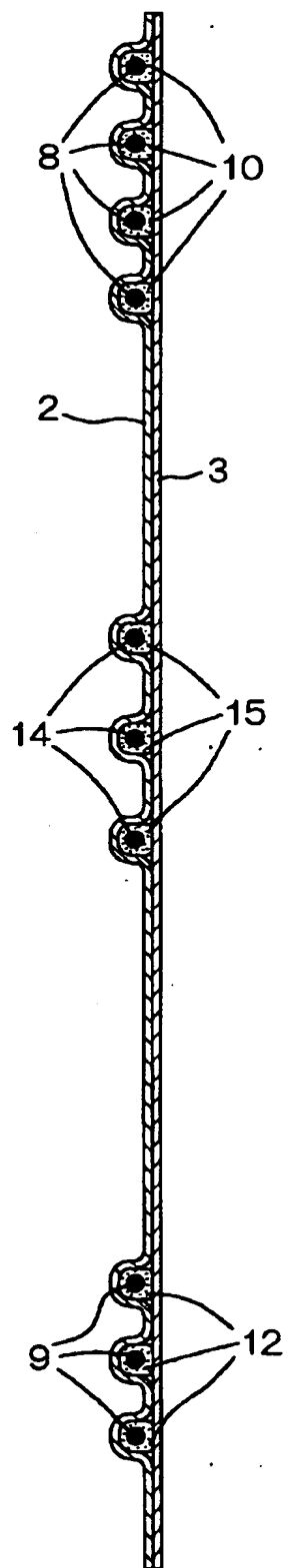
【図4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 互いに連結された両側縁部を接合領域において円滑に引き裂くことができるパンツ型の使い捨て着用物品を提供する。

【解決手段】 第1および第2胴周り域20, 22と、それら胴周り域20, 22の間に位置する股下域21とを備え、第1および第2胴周り域20, 22が、それらの両側縁部1aに延びる接合領域B1で連結されて胴周り開口5と脚周り開口6とが画成され、第1弾性部材8が、胴周り開口5の縁部に伸長状態を取り付けられ、第2弾性部材9が、脚周り開口6の縁部に伸長状態に取り付けられたパンツ型の使い捨て着用物品1であり、第1弾性部材8の両端部8aが、接合領域B1から胴周り方向X内方へ偏倚した第1部位B2に固定され、第2弾性部材9の両端部9aが、接合領域B1から脚周り方向Y内方へ偏倚した第2部位B3に固定されている。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2000-157024
受付番号	50000655036
書類名	特許願
担当官	唐木 敏朗 7396
作成日	平成12年 6月 1日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000115108
【住所又は居所】	愛媛県川之江市金生町下分182番地
【氏名又は名称】	ユニ・チャーム株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100066267
【住所又は居所】	東京都港区新橋3丁目1番10号 石井ビル 白 浜国際特許事務所

【氏名又は名称】	白浜 吉治
----------	-------

【代理人】

【識別番号】	100108442
【住所又は居所】	東京都港区新橋3丁目1番10号 (石井ビル5 階) 白浜国際特許事務所

【氏名又は名称】	小林 義孝
----------	-------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000115108]

1. 変更年月日 1990年 8月24日
[変更理由] 新規登録
住 所 愛媛県川之江市金生町下分182番地
氏 名 ユニ・チャーム株式会社